



大 幼



令和5年度
園長だより No.10
令和6年3月25日

1年間ありがとうございました

お話しボンの会の甲斐先生、ことのはの姫野先生から、附属幼稚園の園児は、この1年間でたくさんのプレゼントをいただきました。温もりのあることばの数々・リズムカルなことばの世界観等私たちの使うことばの奥深さを改めて感じたものです。

お二人の先生は、園児たちと過ごした時間はとても楽しかったと話してくれました。週に1度の機会ですが、園児たちも保護者も先生方も、ことばのもつ力を実感できる会を来年度も引き続き開催できることを願い、1年間のお礼をいたしました。



「共にぞだつ」なかよしグループでのお別れ遠足

3月8日(金)お別れ遠足でやまばと公園まで、歩いて行きました。公園では、クイズ大会をしたり、各学年に分かれて遊んだりしました。子どもたちは元気いっぱい遊び、なかよし班でお弁当を食べて、楽しい思い出を作っていました。

この日は少し風が強かったので、お弁当後のシートを畳むのに苦労していました。そんな中、年長さんが年少さんのお手伝いをする姿がちらほらあり、異年齢でグループを構成する良さを感じました。

近年は、コロナ禍であったことや安全面での不安もあり構内遠足でしたが、今年は思い切って外に出たことで、普段にはない環境の中でたっぷり身体を動かして遊ぶことができました。



ぼくたちの附属幼稚園



間もなく桜の蕾が弾けて、淡いピンク色の花が咲き誇る季節です。3月14日(木)年長さんが卒園していきました。一人一人に修了証書を渡しましたが、どの子もいい表情でステージへ歩みを進め、今まで見たことのないような真剣な眼差しで、私は見つめられました。年長としての有終の美へと誘うエネルギーを感じた瞬間でした。

3月19日(金)修了式がありました。朝の横断歩道で「ちょっと寂しい」と一言。ホールの中では、「ドキドキする」と一言。園児たちは、今年度の終了にあたって程よい緊張感をもって臨み、一年間を園歌で締めくくりました。

年長さんは、4月から小学生という次のステージで、生き生きとした姿を見せてくれるでしょうし、年少さんや年中さんは、自分の考えや思いの中から出てくる、「やってみよう」を大切にして新学期を迎えてほしいと思います。